

校舎の維持管理について

【質問】綾小体育館の雨漏り補修工事が3年前から問題となっているが、補修の実施状況は。

【答弁】雨漏り調査を実施した。原因を突き止める事が難しい。原因を究明しながら修繕に対応したい。

【質問】確かに雨漏りの原因確認は難しいと思う。現実には風雨等の激しい時はバケツも置いている。原因を究明して早く実施すべきと思うが。

【答弁】もう一步進んだ確認調査をしたい。

【質問】日常的に学校には管理する人がいると思うが、学校長と教育委員会が維持補修のための意志疎通を図っているのか。

【答弁】校舎の維持管理は当然の事ながら、必要な財源を確保して、学校施設管理者と学校長の意思の疎通をはかり、対応している。

市内中小企業対策は大丈夫か

【質問】米国発の金融危機で日本にも影響が及んでいる中、この予算範囲で大丈夫か。

【答弁】その通りで、年末年始で資金需要が増える予想の中、20億円の融資枠を用意し、3月末まで推移を見ながら対応をする。制度融資は、これ以外のももあるので、不足時は他の融資制度を紹介したい。

【質問】国の緊急保証制度についても商工関係者に周知できる形が必要と思うが、対応窓口は。

【答弁】セーフティネット保証は、産業振興課が対応する。基本的には金融機関経由で相談されるケースが多いが、直接相談されることもあるので、引き続き相談も受け付け認定もしていく。

【質問】なかなか貸付を受けられない実態もあるが。

【答弁】貸付については、金融機関の判断を踏まえた対応である。



▲市内誘致企業のひとつ SMC の作業風景

行政事務処理状況に関する再調査について

【質問】行政事務処理状況調査本部による調査で、17項目の不適切処理が明らかになったわけだが、監査のあり方についてマニュアルを作るべきと思うが。

【答弁】定期・随時と監査があり、抽出による監査でしか納付書以外で納める現金の取扱いはチェックできない。しかも、それについてのマニュアルは無いので、しっかりとマニュアル作りを進めたい。

【質問】農業委員会の問題については事務処理の問題だと思うが、恒常的に行われていたのではないのか。何故こうなったのか。

【答弁】費用弁償についての引き継ぎが不十分であった。チェックの甘さについては弁明の余地が無い。この調査結果を踏まえて取り組んでいく。市民感情に対しても、謝罪して改善の方向を示していくしかない。職員は頑張っている。

【質問】職員は目一杯仕事をしている。この様な状況の中で不適切処理が起きるという事は、業務のマニュアルがしっかりとしたものになっていないという事ではないのか。前回の質問でも、「今後検討する」という答弁だったが、原因が分かっているのに何故すぐに対応しないのか。

【答弁】そこが課題であると認識している。しっかりとマニュアルを整備したい。取り組みが遅いのはその通りであって、改善すべき事項ははっきりして来たので、調査本部で進行管理しながら、今年度中に公金取扱いのマニュアル、事務処理等を改善したい。

【質問】職員を指導・管理し、業務をチェックすべき幹部の皆さんがしっかりすべきと思うが、モラルの向上についてはどう取り組むのか。

【答弁】人材育成方針ということで職員の能力向上を目指し、コミュニケーションを図り、職員研修での法令遵守、公務員としての行動規範等の研修を進めたい。



▲早急な環境整備が求められる綾織小学校舎